

など、各垂直分布帯に相対的に分布の片寄りが強いという特性をもったササラダニ類の存在が明らかになった。

4. 亜高山帯におけるコバネダニ科の種の割合が高かった。

5. MGP分析Iによると、高山性草原とハイマツ低木林のササラダニ組成は草原タイプあるいは高山タイプといわれるO型に、亜高山帯針葉樹林と山地帯落葉広葉樹林では森林タイプのG型を示した。

6. 亜高山帯上部に片寄って分布した種では有翼類(P群)が圧倒的に多く、接門類(M群)はきわめて少ないが、山地帯へ移行するにつれて有翼類(P群)が減り無翼類(G群)が増加した。

引用文献

- 青木淳一, 1983. 三つの分類群の種数および個体数の割合によるササラダニ群集の比較(MGP分析). 横浜国大環境研紀要, 4(1), 149-154.
- 青木淳一・原田洋, 1979. 南アルプス仙丈ヶ岳におけるササラダニ類の垂直分布. 国立科博専報, (12), 139-149.
- 青木淳一・原田洋, 1983. 東北脊梁山地南部の高山帯のササラダニ相. 国立科博専報, (16), 111-122.
- 原田洋, 1988. ササラダニ類の生態分布に関する研究I—本州中部地域を中心として—. 横浜国大環境研紀要, 15(1), 119-166.
- 原田洋, 1993. 東北地方北部の亜高山帯のササラダニ相—八甲田山, 岩手山および秋田駒ヶ岳—. 横浜国大環境研紀要, 19(1), 61-72.
- 原田洋・青木淳一, 1982. 木曾山脈駒ヶ岳のササラダニ群集. 横浜国大環境研紀要, 8(1), 207-218.
- 平内好子, 1995. 打ち込み法と拾い取り法による瀬戸蔵山ブナ林の土壤動物(特にササラダニ類)の比較. 富山県高教研生物部会報, 19, 13-19.
- 平内好子, 1997. 富山のブナ林と生き物たち. ブナ林の土壤動物. ブナ林研究グループ発行, 37-54.
- 平内好子, 2001. 落ち葉の下の世界—土壤動物—, 有峰の生き物たち. 富山県高教研生物部会, 47-60.
- 平内好子・大西純, 1994. 富山県のササラダニ相. 富山市科学文化センター研究報告, 17, 19-33.
- 平内好子・佐藤卓, 1999. 富山県の針葉樹林におけるササラダニ群集. 富山の生物, 38, 1-12.
- 平内好子・佐藤卓・澤田昭芳・小川徳重, 2002. 富山県朝日町鹿島神社樹叢のササラダニ相. 富山の生物, 41, 35-42.
- 伊藤弘美・青木淳一, 1981. 白山の高山帯におけるササラダニ群集の種組成. 横浜国大環境研紀要, 7(1), 145-153.
- 丸山一郎, 1994. 巻機山の亜高山帯におけるササラダニ類の群集構造. 新潟県生物教育研究会誌, 29, 13-27.
- 布村昇, 1994. 呉羽丘陵の土壤動物「富山市呉羽丘陵自然環境調査報告」. 富山市科学文化センター, 169-192.
- 布村昇・平内好子, 1998. 富山市ファミリーパーク地内の土壤動物. 富山市ファミリーパーク地内自然環境組合調査報告書, 111-128.
- 布村昇・宮本望・平内好子・小川徳重, 1999. 立山の土壤動物と貝類. 立山地区動植物多様性調査報告, 145-200.
- Soma, K., 1998. Community Structure of Oribatid Mites in Soils of Pinus pumila Scrubs on Mt. Norikura in the Central Mountainous Region of Japan. Edaphologia, 61, 23-39.

富山県における哺乳類の記録 (2002年)

- 村井仁志¹⁾, 白石俊明¹⁾, 間宮寿頼²⁾, 南部久男³⁾, 岡圭一⁴⁾, 西岡満⁵⁾, 神保美和子⁶⁾, 森大輔¹⁾
- 1) 富山市ファミリーパーク 〒930-0151 富山県富山市古沢 254
- 2) 富山県鳥獣保護センター 〒939-2632 富山県婦負郡婦中町吉住 1-1
- 3) 富山市科学文化センター 〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31
- 4) 富山県立山センター立山自然保護センター 〒930-1414 中新川郡立山町芦峯寺 (室堂平)
- 5) 高岡古城公園動物園 〒933-0044 高岡市古城 1-6
- 6) 富山県動物生態研究会

Records of Mammals in Toyama Prefecture (2002)

Hitoshi MURAI¹⁾, Toshiaki SHIRAISHI¹⁾, Kazuyori MAMIYA²⁾, Hisao NAMBU³⁾, Keiichi OKA⁴⁾, Mituru NISHIOKA⁵⁾, Miwako JIMBO⁶⁾ and Daisuke MORI¹⁾

- 1) Toyama Municipal Family Park Zoo: 254, Furusawa, Toyamashi, Toyama PRF, 930-0151, JAPAN
- 2) Toyama Prefectural Wildlife Protection Center: 1-1, Yoshizumi, Fuchuumachi, Neigun, Toyama PRF, 939-2362, JAPAN
- 3) Toyama Science Museum: 1-8-31, Nishinakanomachi, Toyamashi, Toyama, 939-8084, JAPAN
- 4) Toyama Nature Conservation Center: Ashikuraji, Tateyamamachi, Nakaniikawagun, Toyama PRF, 930-1414, JAPAN
- 5) Takaokakojyo Park Zoo: 1-6, Kojo, Takaokashi, Toyama PRF, 933-0044, JAPAN
- 6) Toyamaken Doubutu Seitai Kenkyukai

はじめに

富山県に生息する哺乳類は7目16科49種が報告されている(表-1)。これらの各種の生息状況については、近年分布を広げているハクビシンやイノシシ等(赤座・南部, 1998; 南部, 2002)の一部の種を除いて殆ど分かっていないのが現状であり、報告も少ない。また、近年は環境の変化が著しいが、県内の哺乳動物相の変遷についてもよく分かっていない。

哺乳類の生息状況は、気象条件の変化や人間活動の影響により日々変化していると思われる。筆者らは、哺乳動物などの生態や分布情報等に興味をもち、フィールドに出かける機会が多く、哺乳類の轢死体の目撃や林道での横断を目撃することが多い。哺乳類の多くは、夜行性で確認が困難な場合が多いため、たとえ目撃情報や事故死の情報であったとしても生息を示す貴重なデータとなる。

そのため、このような情報を各自の責任でまとめ、データベース化し、公表することとした。

これらのデータは、筆者らが、各自の哺乳類の調査、研究を進めていく上での基礎的なデータとして、また、県内の哺乳動物相の生息状況を明らかにし、保全を考える上で有用な基礎的データとなることを期待して、今後もデータベース化と公表を継続していく予定である。

なお、今回の報告は陸棲哺乳類のデータである。また、富山県の哺乳類に関する過去から今日にいたる主な報告は、別に報告した(村井他, 2003)。

方法

日常の活動で得られた哺乳類やその痕跡の目撃情報を、次の項目について分かる範囲で記録した。今回のデータは2002年1月から11月まで各

自が収集し、2002年以前のデータも含まれる。主に富山県内の情報である。なお、新聞情報も含み、富山の哺乳類(野生、飼育の逃亡)に関する記事で、写真などで種の鑑定ができる信頼性のあるものは、大部分掲載した。

- 1) 「整理番号」: 集まったデータを「哺乳類番号順」「確認年月日」「3次メッシュ」の優先順位で並び替えをおこなった。並び替えたデータに7桁の通し番号を記載した。最初の4桁は公表した年を記し、後の3桁はその年のデータ番号である。
- 2) 「哺乳類番号」及び「種名」: 環境庁自然保護局(当時)が平成9・10年に実施した「種の多様性調査」において作成された「種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧」(環境庁, 1997a)に従い対象種コード番号(4桁)および種名を記載した。
- 3) 「確認年月日」: 西暦を4桁、月を2桁、日を2桁の合計6桁で記載した。正確な確認年月日が分からない場合は0を記載し(月日不明の例20030000)、備考欄に上旬・中旬・下旬などおおよその時期を記録した。
- 4) 「時間」: 目撃時間が分かる場合は24時間表示で記録した。また正確に分からない場合でも午前・午後・朝・日中・夕方などを分かる範囲で記録した。
- 5) 「天候」: 分かる範囲で記載した。
- 6) 「確認場所」: 市町村名および地名を記載した。また、建物など確認場所の目印となものが分かる場合は、()内に固有名詞を記載。
- 7) 「3次メッシュ」: 確認場所は、環境庁自然保護局(当時)が平成9・10年に実施した「種の多様性調査」において作成された都道府県別メッシュマップの富山県版(16)の3次メッシュを用いた(環境庁, 1997b)。3次メッシュ内の場所をさらに特定する場合は、3次メッシュ内を縦横に4分割し、左上をA、右上をB、左下をC、右下をDとし、メッシュ番号の後に示した。聞き取り情報や引用で確認場所を特定できないものは、確認場所と思われる地点の3次メッシュを記載し、その他に可能性がある3次メッシュの下4桁を()内に続けて記載した。

- 8) 「標高」: 地図から可能な範囲で標高を読み取り、m単位で記載した。()がついているものは場所が特定できないために、おおよその標高を記載したものである。
- 9) 「確認物」: 最初に、確認物を「生体」「死体」「痕跡」等に分けて記載し、次に「生体」「死体」については、分かる範囲で、年齢や雌雄などの個体に関する基本的な情報を、「痕跡」については痕跡の種類を記載した。最後に確認物の個体数を記載した。痕跡の数は何個体分の痕跡かを記載。轢死の場合は備考欄に「轢死」と記載した。
- 10) 「環境」: 確認物を目撃した環境を示した。
- 11) 「報告者」及び「確認者」: 「報告者」は報告した者の氏名を記載した(筆者らになる)。また、今回の調査では信頼できる情報は記録として残していくため、聞き取り情報も含まれる。従って、必ずしも報告者が確認物を発見したとは限らないため、「確認者」は確認物の発見者又は情報提供者を示し、報告者に情報を提供者の氏名を記載した。
- 12) 「公表・引用」: 新聞や報告書から情報を得た場合は、引用した新聞名および報告書名を記載した。データは、これらから報告者が、内容が変化しないように抽出したものである。報告者のコメントは備考欄に記入した。
- 13) 「備考」: 確認物の状態、計測値、確認方法等を記載した。報告者と確認者が異なる場合には写真等が同定の根拠となる場合があり、写真がある場合は有無も記録した。新聞情報や報告書引用の場合のコメントを記載した。また、確認物に関する報告者のコメントも記載した。

結果及び考察

本調査において180件の哺乳類に関する情報を収集することができた。このうち同定ができたものは7目15科27種である(表-2)。大型哺乳類では、ツキノワグマ *Ursus thibetanus* やニホンカモシカ *Capricornis crispus*、ニホンジカ *Cervus nippon* が確認された。中型哺乳類で

表-1 富山県哺乳類確認種リスト

目名	科名	種名	レッドデータリスト		
			富山県	環境省	
モグラ目 INSECTIVORA	トガリネズミ科 Soricidae	アズミガリネズミ トガリネズミ カワネズミ ジネズミ	<i>Sorex hosoni</i> Imaizumi, 1954 <i>Sorex caecutiens</i> Laxmann, 1788 <i>Chimarrogale himalayica</i> (Gray, 1842) <i>Crocidura dsinezumi</i> (Temminck, 1843)	危急種 危急種	準絶滅危惧 準絶滅危惧
	モグラ科 Talpidae	ヒメヒミズ ヒミズ ミスラモグラ アズマモグラ	<i>Dymecodon pilirostris</i> True, 1886 <i>Urotrichus talpoides</i> Temminck, 1841 <i>Euroscaptor mizura</i> (Gunther, 1880) <i>Mogera wogera</i> (Temminck, 1842)	危急種	準絶滅危惧
コウモリ目 CHIROPTERA	キクガシラコウモリ Rhinolophidae	キクガシラコウモリ コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i> (Schreber, 1774) <i>Rhinolophus corunutus</i> Temminck, 1835		
	ヒナコウモリ科 Vespertilionidae	ヒメホオヒゲコウモリ カグヤコウモリ ノレンコウモリ アブラコウモリ モリアブラコウモリ クビワコウモリ ヤマコウモリ ウサギコウモリ ユビナガコウモリ テングコウモリ コテンゴコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i> (Temminck, 1840) <i>Myotis ikonnikovi</i> Ognev, 1912 <i>Myotis frater</i> Allen, 1923 <i>Myotis nattereri</i> (Kuhl, 1818) <i>Pipistrellus abramus</i> (Temminck, 1840) <i>Pipistrellus endoi</i> Imaizumi, 1959 <i>Eptesicus japonensis</i> Imaizumi, 1953 <i>Nyctalus aviator</i> (Thomas, 1911) <i>Plecotus auritus</i> (Linnaeus, 1758) <i>Miniopterus fuliginosus</i> (Hodgson, 1835) <i>Murina leucogaster</i> Milne-Edwards, 1872 <i>Murina ussuriensis</i> Ognev, 1913	希少種 希少種 希少種 情報不足 危急種 希少種	絶滅危惧IB類 絶滅危惧II類 絶滅危惧IB類 絶滅危惧IB類 絶滅危惧II類 絶滅危惧II類
サル目 PRIMATES	オナガザル科 Cercopithecidae	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i> (Blyth, 1875)	希少種	絶滅危惧II類
ウサギ目 LAGOMORPHA	ウサギ科 Leporidae	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i> Temminck, 1845		
ネズミ目 RODENTIA	リス科 Sciuridae	ニホンリス ホンドモンガ ムササビ	<i>Sciurus lis</i> Temminck, 1884 <i>Pteromys momonga</i> Temminck, 1844 <i>Petaurista leucogenys</i> (Temminck, 1827)	希少種	
	ヤマネ科 Gliridae	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz, 1845)	希少種	準絶滅危惧
	ネズミ科 Muridae	スミスネズミ ヤチネズミ ハタネズミ ヒメネズミ アカネズミ ドブネズミ クマネズミ ハツカネズミ	<i>Eothenomys smithii</i> (Thomas, 1905) <i>Eothenomys andersonii</i> (Thomas, 1905) <i>Microtus montebelli</i> (Milne-Edwards, 1872) <i>Apodemus argenteus</i> (Temminck, 1844) <i>Apodemus speciosus</i> (Temminck, 1844) <i>Rattus morvegicus</i> (Berkenhout, 1769) <i>Rattus rattus</i> (Linnaeus, 1758) <i>Mus musculus</i> Linnaeus, 1758		
ネコ目 CARNIVORA	クマ科 Ursidae	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i> (G. Cuvier, 1823)		
	イヌ科 Canidae	キツネ タヌキ オオカミ*	<i>Vulpes vulpes</i> Linnaeus, 1758 <i>Nyctereutes procyonides</i> (Gray, 1834) <i>Canis lupus</i> Linnaeus, 1758	絶滅種	絶滅
ウシ目 ARTIODACTYLA	イタチ科 Mustelidae	テン イタチ オコジュ アナグマ カワウソ*	<i>Martes melampus</i> (Wagner, 1840) <i>Mustela itatsi</i> Temminck, 1844 <i>Mustela erminea</i> Linnaeus, 1758 <i>Meles meles</i> (Linnaeus, 1758) <i>Lutra lutra</i> (Linnaeus, 1758)	希少種	準絶滅危惧
	ジャコウネコ科 Viverridae	ハクビシン**	<i>Paguma larvata</i> (C. E. H. Smith, 1827)	絶滅種	絶滅危惧IA
	イノシシ科 Suidae	イノシシ	<i>Sus scrofa</i> Linnaeus, 1758		
ウシ目 ARTIODACTYLA	シカ科 Cervidae	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i> Temminck, 1838		
	ウシ科 Bovidae	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i> Temminck, 1845		

本目録は、富山県で生息が確認された哺乳類のリストである。絶滅種も含み、富山県(1977, 1988, 1989, 2002)、自然博物館センターねいの里(1982, 1983, 1984, 1985, 1986, 1994, 1996)、南部(1999a, 2001)、村井(1999)、村井・穴田(1993)、山本・湯浅(1994)を参考に作成した。分類は阿部他(1994)に従ったため、シナノホオヒゲコウモリ *Myotis hosonoi* (ねいの里, 1984; 山本・湯浅, 1994) をヒメホオヒゲコウモリ、カゲネズミ *Eothenomys kageus* (山本・湯浅, 1994) をスミスネズミとして記載した。レッドデータリストの欄は、富山県(2002)および環境省(2002)の作成したレッドデータリストに該当する種についてそのカテゴリーを記載した。

ニホンオオカミは江戸時代に越中各地で被害があり、産物帳にもでてくるが(広瀬, 1998; 盛永他, 1985; 日本野生動物研究センター, 1987)、明治時代の富山県における生息記録は発見されていない。カワウソは明治時代には富山県で毛皮の統計があり、大正11年には1頭狩猟統計に挙げられている(南部, 1999)。キツネは、1967~1981年にかけて、岡山県産172頭放獣されている(滝澤, 1994)。ニホンジカ、イノシシは明治時代に毛皮の統計等より生息していたと思われるが、大正末からの狩猟統計には挙げられていないため、ほとんど生息していなかったと思われるが、近年ニホンジカは時々目撃されるようになり、イノシシは目撃され、狩猟統計にも挙がり増加傾向にある(南部・吉村, 2002)。なお、イノシシ、ニホンジカは飼育個体であった可能性もある(南部, 1999b)。クビワコウモリ、モリアブラコウモリについては1例の報告しかない(山本・湯浅, 1994; 自然博物館ねいの里, 1985)。

* 絶滅種(富山県)、** 外来種。

は、タヌキ *Nyctereutes procyonides*、ハクビシン *Paguma larvata*、ニホンザル *Macaca fuscata* が多く確認され、キツネ *Vulpes vulpes*、テン *Martes melampus* の確認例は僅かであった。小

型哺乳類ではモグラ目およびコウモリ目、ネズミ目を確認されている。これらの中から特筆すべきことについて述べる。

ニホンザルの記録は35件あったが、そのうち

26件は新聞に掲載されたものである。このうち2002-053から2002-065までのデータと、2002-066から2002-072までのデータはそれぞれ同一個体が出没したものと推察されるが、これらはオスで単独行動していることから離れザルと思われる。2002年は離れザルが県西部の住宅地で相次いで出没した。2002-048は2000年5月の利賀村草領における群の目撃例で、富山県西部にはニホンザルの群は生息しないとされ(富山県,1977,1978),今回の富山県西部における本種の群の目撃は近年では珍しいものである。

ツキノワグマで新聞に記載された記録のうち2002-128および2002-129は砺波市正権寺の国道で交通事故死した同一個体に関する記録である。この記録以外は魚津市・滑川市・立山町の県西部での記録である。

2000年に立山室堂平付近でのハクビシンの記録が4件ある(2002-133~2002-136)。これらは同一個体の記録で、なおかつ飼育されていた個体と推測されている(富山県立山センター,2001)。本種は、富山県では1980年代初め頃より岐阜県側の神通水系から進出し、500m以下の山地に普通にみられるようになった(赤座・南部,1998)。本種の記録はその他に10件ほどあり、市街地での記録もみられ、本種が市街地にも生息域を広げたことが示唆される。

ニホンジカは3件あった(2002-147,2002-148,2002-149)。内1件は長野県白馬村の記録である。本種は近年県内で時々目撃されるようになり(南部・吉村,2002),今後は増えていく可能性があり、近県の状況もあわせて動向に注目する必要がある。

ムササビ *Petaurista leucogenys* の轢死体が1例記録された(2002-164)。本種は主に樹上で生活するため、交通事故死は珍しい記録と言える。

立山山頂でアナグマ *Meles meles* が確認されたのが特筆される(2002-125)。本種は一般に山地帯下部から丘陵部の森林、灌木林に生息する(阿部他,1994)。また、山本(1989,1991,1995)は標高1500~1900mの亜高山帯に位置する長野県入笠山で本種の継続的な調査をおこなっている。

山本(1991,1995)は、アナグマの糞分析による食性調査で非積雪期にミミズ類と地上性昆虫に強く依存し、その他にはハタネズミや果実・種子などをおもな食べ物としていることを示唆した上で、本種がミミズ類や地上性昆虫が多く分布する灌木林や落葉広葉樹林などの環境を選択しているとしている。食性という面で考えると、陸生のミミズは高山のハイマツ群落にも分布し(渡辺,1997),今回の報告において室堂平付近においてハタネズミが確認されている(2002-167~2002-171)ことから、確認されたアナグマが立山山頂付近に自然分布していることは現在のところ否定できない。しかし、人為的にこの地域に持ち込まれた可能性も高いと考えられ、今回の記録された本種の由来は今後調査していく必要がある。ちなみに、アナグマの確認記録で標高2000mを越えるものは筆者らの知る限りではない。

ヤマネ *Glirulus japonicus* も立山で確認されているが、記録も少なく本種の県内の生息状況はよく分かっていない(富山県,1978)。

今回の調査で、フェレット *Mustela putorius furo* (ヨーロッパケナガイタチの家畜種)が1例記録された(2002-180)。ペットとして飼育されていたものが保護されたものであると推測される。

謝辞

今回の調査において、大野博美氏、加藤朋美氏、佐伯克美氏、佐伯邦夫氏、二宮美加氏、須川隆夫氏、中村哲也氏、山崎強氏から貴重な情報を提供いただいた。ここに記して厚くお礼申し上げる。

参考文献

- 阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明.1994.日本の哺乳類.東海大学出版界.195pp.
- 赤座久明・南部久男.1998.富山県におけるハクビシンの生息状況.富山市科学文化センター研究報告,(21):119-126.
- 広瀬誠.1998.越中の動物たち—主として加賀藩の資料から—,越中の文学と風土. pp.119-142.桂書房.460pp.

- 原典は、信濃18巻1号(1966)に掲載され、本論は、一部加筆(付記)されている
- 環境庁.1997a.種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧.8pp.
- 環境庁.1997b.都道府県別メッシュマップ—自然環境保全調査用—16富山県.63pp.
- 環境省.2002.改訂・日本の絶滅の恐れのある野生生物—レッドデータブック—.1哺乳類.175pp.
- 盛永俊太郎・安田健・田川捷一.1985.享保天文諸国産物帳集成第1巻.加賀・能登・越中・越前.科学書院.
- 村井仁志・穴田哲.1993.富山県内の人工洞における翼手類について.富山の生物.32:24-29.
- 村井仁志・白石俊明・間宮寿頼・南部久男・岡圭一・西岡満・神保美和子・森大輔.2003.富山県の陸生哺乳類に関する文献I.富山の生物.42:39-46.
- 南部久男.1999a.富山県で絶滅した大型動物(哺乳類・鳥類)の記録I 明治・大正時代の富山県における哺乳類の毛皮及び狩猟等の統計.富山市科学文化センター研究報告,(22):153-168.
- 南部久男.1999b.富山県で絶滅した大型動物(哺乳類・鳥類)の記録II ナチュラリストからの報告.富山市科学文化センター研究報告,(22):169-176.
- 南部久男.2001.大正10年度日本の狩猟数.富山市科学文化センター研究報告,(24):91-92.
- 南部久男・吉村博儀.2002.富山県におけるイノシシ・ニホンジカの記録.富山市科学文化センター研究報告,(25):41-49.
- 日本野生生物研究センター.1987.過去における鳥獣分布情報調査報告書.
- 自然博物館ねいの里.1982.ニュー・フェイス.ねいの里だより.No.3.
- 自然博物館ねいの里.1983.ニュー・フェイス.ねいの里だより.No.7.
- 自然博物館ねいの里.1984.ニュー・フェイス.ねいの里だより.No.9.

- 自然博物館ねいの里.1985.ニュー・フェイス.ねいの里だより.No.11.
- 自然博物館ねいの里.1986.ニュー・フェイス.ねいの里だより.No.12.
- 自然博物館ねいの里.1994.1993年ニュー・フェイス.ねいの里だより.No.19.
- 自然博物館ねいの里.1996.1995年ニュー・フェイス.ねいの里だより.No.21.
- 滝澤均.1994.キツネ.p.471.富山大百科上.北日本新聞社.富山.1074pp.
- 富山県.1977.とやまの野生鳥獣.147pp.
- 富山県.1978.とやまの野生鳥獣.242pp.
- 富山県.1979.第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(哺乳類).
- 富山県.2002.富山県の絶滅の恐れのある野生生物—レッドデータブックとやま—.352pp.
- 富山県立山センター.2001.立山センター立山自然保護センター業務報告書.第1号.
- 富山県立山センター.2002.立山センター立山自然保護センター業務報告書.第2号.
- 山本茂行・湯浅純孝.1994.哺乳類.立山カルデラ自然環境基礎調査報告書.5動物 pp.1-15.富山県.
- 山本祐治.1989.長野県入笠山におけるニホンアナグマの巣穴について.平岡環境科学研究所報告,2:131-139.
- 山本祐治.1991.長野県入笠山におけるニホンアナグマの食性.平岡環境科学研究所報告,4:73-83.
- 山本祐治.1995.長野県入笠山におけるニホンアナグマ *Meles meles anakuma* の行動圏と環境選択.平岡環境科学研究所報告,8:51-65.
- 渡辺弘之.1997.貧毛類(ミミズ類).pp.113-114.日本動物大百科7無脊椎動物.平凡社.
- 追記:下記にヤマコウモリの確認記録が挙げられている。
- 村井仁志.1999.サテライト・インフォメーション.たかがこうもり、されどこうもり.グルーミング,7(2):15.

表-2 富山県の哺乳類の記録(2002年)

整理番号	種名	種名	天候	確認場所	3次元座標	確認物	関係等	報告者	公表・引用	備考
2002-001	アズミトガリネズミ	アズミトガリネズミ	天候	立山町重宝平	45-5437-6497	死体 1		岡圭一	富山県立山センタ- (2001)	
2002-002	アズミトガリネズミ	アズミトガリネズミ		立山町重宝平(総合活動場)	45-5437-6498, 6487, 64	死体 1		岡圭一	富山県立山センタ- (2001)	
2002-003	アズミトガリネズミ	アズミトガリネズミ		立山町松ヶ原(松尾峠付)	45-5437-6488-A	死体 1	木道上	岡圭一	富山県立山センタ- (2002)	
2002-004	アズミトガリネズミ	アズミトガリネズミ		立山町天狗平~ノ谷間	45-5437-6490(6495, 64)	死体 1	木道上	岡圭一	富山県立山センタ- (2002)	
2002-005	アズミトガリネズミ	アズミトガリネズミ		立山町重宝平付近(雷鳥荘)	45-5437-6498-A	生体 1		岡圭一	富山県立山センタ- (2002)	
2002-006	ヒメミズ	ヒメミズ		黒部峡谷下の麓下(S字峠付近)	37-5437-7574(7575, 75)	死体 1		岡圭一	富山県立山センタ- (2001)	
2002-007	ヒメミズ	ヒメミズ		立山町立山道(大観谷~弘法間)	45-5437-6481(6471, 64)	死体 1	道路上	岡圭一	富山県立山センタ- (2002)	
2002-008	ミズラモグラ	ミズラモグラ		立山町重宝平	45-5437-6498(6497, 64)	死体 1		岡圭一	富山県立山センタ- (2001)	
2002-009	ミズラモグラ	ミズラモグラ		立山町立山道(松尾峠付)	45-5437-6495	死体 1	道路上	岡圭一	富山県立山センタ- (2002)	
2002-010	ミズラモグラ	ミズラモグラ		立山町立山道(天狗平付)	45-5437-6496(6497, 64)	死体 1	道路上	岡圭一	富山県立山センタ- (2002)	
2002-011	アズマモグラ?	アズマモグラ?		朝日町羽入	2472-G	200 死体 成獣1	林道で	神保美和子		目視, 写真あり。
2002-012	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		魚津市東又谷(片貝川沿)	27-5537-0472-G	600 生体 成獣, 約100	隧道	村井仁志		
2002-013	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		上市町馬場島	36-5437-7471-G	600 生体 成獣約70	隧道	村井仁志		低体温。
2002-014	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		上市町馬場島	36-5437-7471-G	600 生体 成獣2	隧道	村井仁志		父属。
2002-015	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		大沢町細入村	43-5437-6200-D	200 生体 成獣1	隧道	村井仁志		低体温。
2002-016	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		大沢町細入村	43-5437-6200-D	200 生体 成獣8	隧道	村井仁志		覚醒。
2002-017	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		小矢部市嶺	21-5536-0649-A	260 生体 成獣6	採石場跡地	村井仁志		低体温。
2002-018	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		上市町馬場島	36-5437-7471-G	600 生体 成獣1	隧道	村井仁志		低体温。
2002-019	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		魚津市東又谷(片貝川沿)	27-5537-0474-G	600 生体 成獣1	隧道	村井仁志		低体温。
2002-020	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		上市町馬場島	36-5437-7471-G	600 生体 成獣1	隧道	村井仁志		低体温。
2002-021	キウガシラコウモリ	キウガシラコウモリ		小矢部市嶺	21-5536-0649-A	600 生体 成獣1	隧道	村井仁志		低体温。
2002-022	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0135-A	20 生体 成獣1	市街地	岡宮寿頼		目視, 冬眠中。
2002-023	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0135-A	20 生体 成獣1	市街地	村井仁志		飛翔。
2002-024	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0135-A	20 生体 成獣1	市街地	村井仁志		飛翔。
2002-025	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0135-A	20 生体 成獣1	市街地	村井仁志		街灯周辺で採食。
2002-026	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0135-A	20 生体 成獣1	住宅地	村井仁志		飛翔。
2002-027	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0220-B	20 生体 成獣1	住宅地	村井仁志		飛翔。

表-2 (続き)

2002-028	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	25-5537-0220-B	20 生体 成獣1	住宅地	村井仁志		飛翔。
2002-029	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0127-A	20 生体 成獣1	市街地	村井仁志		採食。
2002-030	アブラコウモリ	アブラコウモリ		富山市市嶺	24-5537-0127-A	20 生体 成獣1	市街地	村井仁志		飛翔。
2002-031	ユビナガコウモリ	ユビナガコウモリ		上市町馬場島	36-5437-7471-G	600 生体 成獣1	隧道	村井仁志		低体温。
2002-032	ユビナガコウモリ	ユビナガコウモリ		小矢部市嶺	21-5536-0649-A	260 生体 成獣1	採石場跡地	村井仁志		低体温。
2002-033	コウモリ目	コウモリ目		小杉町黒河	23-5537-0148-G	5.7 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-034	コウモリ目	コウモリ目		富山市市嶺	24-5537-0188-G	3.2 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-035	コウモリ目	コウモリ目		富山市市嶺	15-5537-1118-D	0 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-036	コウモリ目	コウモリ目		富山市市嶺	16-5537-1200-B	5.4 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-037	コウモリ目	コウモリ目		富山市市嶺	16-5537-1200-B	5.4 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-038	コウモリ目	コウモリ目		富山市市嶺	24-5537-0137-B	7 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-039	コウモリ目	コウモリ目		富山市市嶺	24-5537-0147-B	6 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-040	コウモリ目	コウモリ目		富山市市嶺	24-5537-0147-B	7 生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-041	コウモリ目	コウモリ目		八尾町西松瀬野瀬川上空	49-5437-6100-D	300 生体 1		南都久男		飛翔, 目撃, キウガシラコウモリより大きい, ヤマコウモリかもしれない(村井のコメント)
2002-042	コウモリ目	コウモリ目		富山町花園町	24-5537-0117-G	生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-043	コウモリ目	コウモリ目		富山町花園町	24-5537-0127-G	生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-044	コウモリ目	コウモリ目		富山町花園町	24-5537-0127-G	3.2 生体 約50	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-045	コウモリ目	コウモリ目		富山町花園町	24-5537-0148-A	生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-046	コウモリ目	コウモリ目		富山町花園町	24-5537-0147-G	生体 2~3	道沿い	岡宮寿頼		アブラコウモリの可能性大, 目視, パン
2002-047	ニホンザル	ニホンザル		利賀村阿別当	49-5437-5000(5001, 40)	生体 成獣オス1		南都久男		目撃, 目撃, 40-50cmの角あり, 谷へ降りる。
2002-048	ニホンザル	ニホンザル		利賀村草場(利賀川左岸)	50.4081	600 生体 成獣10(群)	林縁	須川隆夫		
2002-049	ニホンザル	ニホンザル		上市町重宝平	28-5537-0264-A	280 生体 成獣複数		須川隆夫		
2002-050	ニホンザル	ニホンザル		上市町(早月川, 小又川出)	36-5437-7472-D	620 生体 成獣, 幼獣, 複数(45頭+α)	河川	神保美和子		群れ目視
2002-051	ニホンザル	ニホンザル		朝日町(鳥帽子山)	05-5537-3540-A	500 生体 成獣複数	針広湿交林	神保美和子		群れ目視(観光客を避けるように河床を移動)
2002-052	ニホンザル	ニホンザル		利賀村大豆谷	49-5437-5052-D	600 生体 成獣1	雑木林間の草	森大輔		目視, 車道を横切る, 雌9, 雄1
2002-053	ニホンザル	ニホンザル		立山町美平(ふた坂)	44-5437-7280	1220 生体 群れ	山岳地帯の民	白石俊明		群れ, 8頭以上, 子供, アカンボ含む。
2002-054	ニホンザル	ニホンザル		富山町市嶺	24-5537-7199	生体 オス1	市街地の民	白石俊明		
2002-055	ニホンザル	ニホンザル		富山町市嶺	24-5537-0118	生体 オス1	市街地の民	白石俊明		
2002-056	ニホンザル	ニホンザル		富山町市嶺	24-5537-0118	生体 オス1	市街地の民	白石俊明		
2002-057	ニホンザル	ニホンザル		富山町市嶺	24-5537-0119	生体 オス1	市街地の民	白石俊明		
2002-058	ニホンザル	ニホンザル		富山町市嶺	24-5537-0139	生体 オス1	市街地の民	白石俊明		

表-2 (続き)

2002-059	0530	ニホンザル	20020905			富山市高産敷	24-5537-0141	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-060	0530	ニホンザル	20020905			富山市高産敷	24-5537-0142	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-061	0530	ニホンザル	20020906			富山市JR貨物	24-5537-0159	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-062	0530	ニホンザル	20020907			富山市磯田	24-5537-0169	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-063	0530	ニホンザル	20020908			富山市豊田	24-5537-0169	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-064	0530	ニホンザル	20020909			富山市豊田	24-5537-0169	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-065	0530	ニホンザル	20020910			富山市豊田	24-5537-0169	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-066	0530	ニホンザル	20020913			富山市岩瀬御蔵町	16-5537-1266	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-067	0530	ニホンザル	20020919	12:00		富山市高津通	16-5537-1210	生体 オス1				白石俊明	富山新聞・読売新聞 20020914
2002-068	0530	ニホンザル	20020921			黒部市三日市	09-5537-2346	20 生体 子 1		市街地 路上		白石俊明	北日本新聞 20020722
2002-069	0530	ニホンザル	20020921			黒部市中新	09-5537-2385	10 生体 子 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20020722
2002-070	0530	ニホンザル	20020921			黒部市金屋	09-5537-2385	10 生体 子 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20020722
2002-071	0530	ニホンザル	20020921			黒部市古御堂	09-5537-2385	10 生体 子 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20020722
2002-072	0530	ニホンザル	20020921			黒部市六天	09-5537-2385	10 生体 子 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20020722
2002-073	0530	ニホンザル	20020921			黒部市飛騨	09-5537-2375	3 生体 子 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20020722
2002-074	0530	ニホンザル	20021022			立山町立山砂防軌道	45-5437-6402(6451)	生体 10頭以上の群		市街地 路上		白石俊明	北日本新聞 20020722
2002-075	0530	ニホンザル	20021025			立山町沢渡	34-5437-6395-A	生体 成獣オス1		田んぼ		白石俊明	読売新聞
2002-076	0530	ニホンザル	20021103			立山町奥川大橋横	44-5437-6395-A	生体 オス1		道沿い		白石俊明	読売新聞
2002-077	0530	ニホンザル	20021108	8:00		庄川町金屋	40-5436-0012	生体 オス1		住宅地の駐車		白石俊明	富山新聞
2002-078	0530	ニホンザル	20021115	7:30		高岡市中田	23-5537-0012	生体 オス1		農村		白石俊明	北日本新聞 20021117
2002-079	0530	ニホンザル	20021116	午前		高岡市中田	23-5537-0012	生体 オス1		農村		白石俊明	北日本新聞 20021117
2002-080	0530	ニホンザル	20021118			魚津市黒谷	17-5537-1338-B	生体 幼獣含む群		田んぼ		白石俊明	読売新聞
2002-081	0530	ニホンザル	20021128	16:00		井波町東町	40-5436-6778	生体 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20021129
2002-082	0530	ニホンザル	20021128	12:00		庄川町金屋	40-5436-6789	生体 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20021129
2002-083	0530	ニホンザル	20021128	8:20		庄川町青島(庄川中学校構内)	40-5436-6789	生体 1		市街地		白石俊明	北日本新聞 20021129
2002-084	0550	タヌキ	20010213			魚津市東福寺	26-5537-0373-A	200 痕跡 足跡1		田んぼ		白石俊明	読売新聞
2002-085	0550	タヌキ	20010600			立山町妻女平(妻女平駅)	44-5437-5396-B	977 生体 2?		田んぼ		白石俊明	読売新聞
2002-086	0550	タヌキ	20010723	17:00		礮町水新大門町	23-5537-0073-D	5 生体 幼獣(生後約2ヶ月令)		河川敷		白石俊明	北日本新聞 20021129
2002-087	0550	タヌキ	20010802			礮町外輪野	32-5437-7088-A	110 死体 1		国道		白石俊明	北日本新聞 20021129
2002-088	0550	タヌキ	20010831			礮町外輪野	32-5437-7088-A	110 死体 1		国道		白石俊明	北日本新聞 20021129
2002-089	0550	タヌキ	20011029	14:00		礮町外輪野	32-5437-7088-A	30 痕跡 足跡1		ため池過水時		白石俊明	読売新聞
2002-090	0550	タヌキ	20011108	15:00		礮町外輪野	32-5437-7088-A	40 痕跡 足跡1		ため池過水時		白石俊明	読売新聞
2002-091	0550	タヌキ	20011130			八尾町平林	32-5437-7092	生体 成獣1		山地の道路、扇辺は林		白石俊明	読売新聞

表-2 (続き)

2002-091	0550	タヌキ	20011211			礮町嘉礼谷	32-5437-7065-D	120 死体 成獣1		丘陵の道路、扇辺は林・雑草、遺棄動物処理		高岡久男	読売新聞
2002-092	0550	タヌキ	20020305	11:00		高岡市西田	14-5537-1060-B	30 痕跡 ため糞1		竹藪		高岡久男	読売新聞
2002-093	0550	タヌキ	20020314	11:00		高岡市二上山	14-5537-1053-C	70 痕跡 足跡1		林道の沢すじ		高岡久男	読売新聞
2002-094	0550	タヌキ	20020408			礮町長沢	32-5437-7079	死体メス1		平地の道路、扇辺は民家、畑、水田、林		高岡久男	読売新聞
2002-095	0550	タヌキ	20020411	14:00		高岡市二上山(後谷池)	14-5537-1054-D	60 痕跡 足跡1		ため池過水時		高岡久男	読売新聞
2002-096	0550	タヌキ	20020417	18:00		高岡市二上山	14-5537-1030-D	200 生体 成獣メス1		道路で糞死		高岡久男	読売新聞
2002-097	0550	タヌキ	20020908			礮町安田	51-5437-5240-C	220 死体 成獣 1		田圃地帯 路		白石俊明	読売新聞
2002-098	0550	タヌキ	20020823			富山市米田	24-5537-0189-B	死体 1		国道		白石俊明	読売新聞
2002-099	0550	タヌキ	20021001	24:00		礮町池原	32-5437-7063	80 死体 成獣? 1		丘陵の道路、扇辺は雑木林、藁藪		高岡久男	読売新聞
2002-100	0550	タヌキ	20021008	13:00		魚津市湯上	17-5537-1353-D	60 死体 成獣? 1		道路脇		神保美和子	読売新聞
2002-101	0550	タヌキ	20021007			庄川町庄	32-5437-7010-C	93 死体 1		国道		高岡久男	読売新聞
2002-102	0550	タヌキ	20021010			礮町坪野	32-5437-7064-C	138 死体 1		国道		高岡久男	読売新聞
2002-103	0550	タヌキ	20021027			礮町小倉	33-5437-7141	30 死体 1		平地の道路、扇辺は水田、藪		高岡久男	読売新聞
2002-104	0560	キツネ	20000322	朝		高岡市伏木(古府小学校内)	14-5537-1044-A	10 痕跡 死体 1		古府小学校内		高岡久男	読売新聞
2002-105	0560	キツネ	20011029	14:00		礮町太田(与成丸跡池)	14-5537-1002-C	30 痕跡 足跡1		ため池過水時		高岡久男	読売新聞
2002-106	0560	キツネ	20020305	11:00		礮町西田(赤尾谷内池)	14-5537-1071-B	40 痕跡 糞1		ため池の堤		高岡久男	読売新聞
2002-107	0560	キツネ	20020514			高岡市四日市	22-5536-0768-D	10 生体 成獣1		道路を横断		高岡久男	読売新聞
2002-108	0560	キツネ	20021008	1:00		山田村牛岳	41-5437-6075-A	510 生体 成獣1		山林、車道沿		高岡久男	読売新聞
2002-109	0560	キツネ	20021008	1:00		山田村牛岳	41-5437-6075-A	500 生体 幼獣1		山林、車道		高岡久男	読売新聞
2002-110	0620	テン	20020920	20:00		高岡市西田	14-5537-1060-B	20 生体 成獣1		林道を移動		高岡久男	読売新聞
2002-111	0620	テン	20021122			立山町法蓮平	35-5437-7308-D	700 痕跡 糞1		山林		高岡久男	読売新聞
2002-112	0640	イタチ	20010303			上平村小瀬	36-5436-4790-D	400 生体 成獣1		道沿い		高岡久男	読売新聞
2002-113	0640	イタチ	20011105	15:00		礮町太田(与成丸跡池)	14-5537-1001-D	40 痕跡 足跡1		ため池過水時		高岡久男	読売新聞
2002-114	0640	イタチ	20020314	12:00		高岡市二上山	14-5537-1053-C	70 痕跡 足跡1		林道の沢すじ		高岡久男	読売新聞
2002-115	0640	イタチ	20020510			富山市三箇吉原池畔付近	32-5437-7088-A	100 生体 1		丘陵の道路、扇辺は林		高岡久男	読売新聞
2002-116	0640	イタチ	20020526			魚津市大瓶(専月川右岸)	26-5507-0384-B	180 死体 成獣? 1		運搬		神保美和子	読売新聞
2002-117	0640	イタチ	20020611	6:50		富山市三箇(富山市天文台付近)	32-5437-7088	生体 1		丘陵の道路		高岡久男	読売新聞
2002-118	0640	イタチ	20020616			山田村覆坊	32-5437-8070-B	200 生体 成獣 1		道路を横断		高岡久男	読売新聞
2002-119	0640	イタチ	20020630	15:00		庄川町小牧	41-5437-8070-B	10 死体 成獣 ♂ 1		山地の道路、扇辺は林		高岡久男	読売新聞
2002-120	0640	イタチ	20020803			岐阜県神岡市中山	24-5537-0112-B	10 死体 成獣 ♂ 1		山地の道路、扇辺は林		白石俊明	読売新聞